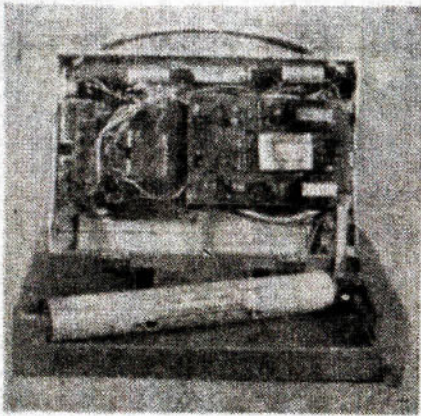


# ソニー 8石 3 Band TR-814



## 回路構成

こんどのテスト中ただ1つの3バンド用で、8石、2ダイオードを使用している。なおソニーおとくいのNPNがIFとAFとに4個用いてある。

短波帯は2Mc~6Mc、6Mc~18Mcの2段切換となつている。

スピーカは12cm円形で、電源は6Vを採用。

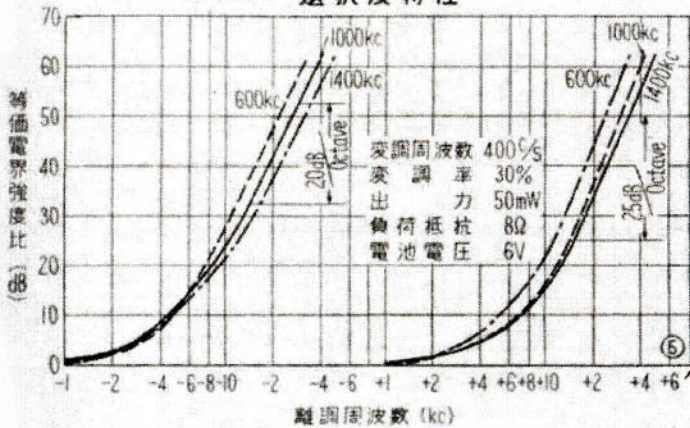
## 測定結果をみて

感度特性のうち、中波では600kcか

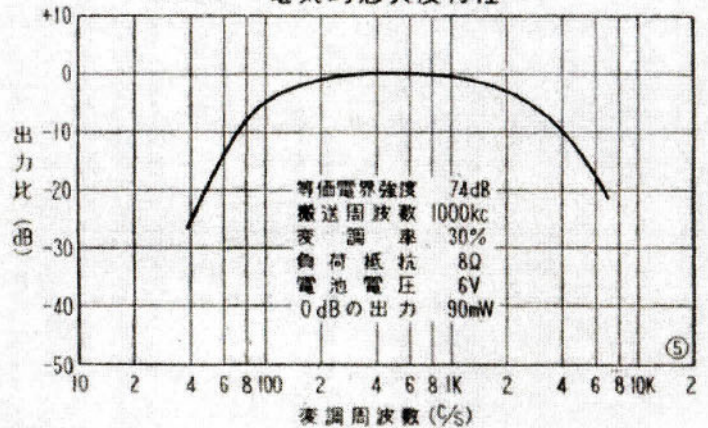
ら1500kcまではじようによいが、1600kc付近で急激にカーブが立ち上っている。そのため、感度差が最大感度では11dBとなつた。また短波でも、よい感度になつている。なお、ロッドアンテナをのぼした状態でも測定してみたが、全体的に悪くでたので、調節はロッドアンテナをのぼさない状態であつてあるようだ。

出力は無ひずみで250mWだから、この種のものでは十二分だろう。

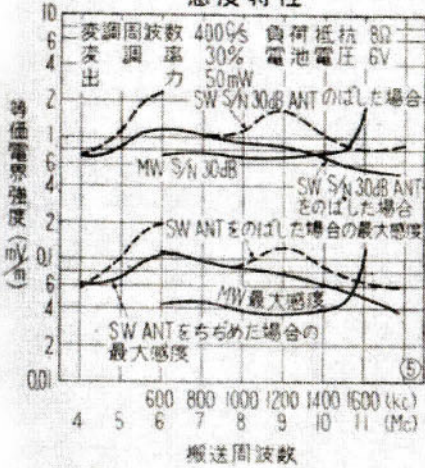
〔第1図〕 選択度特性



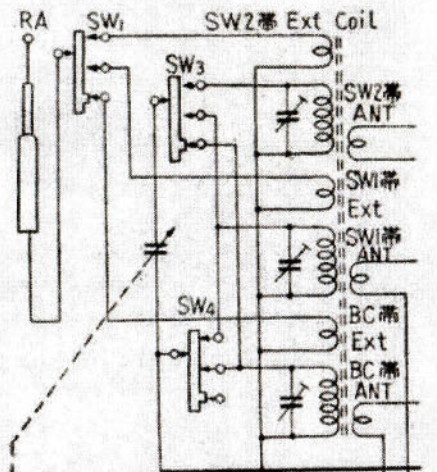
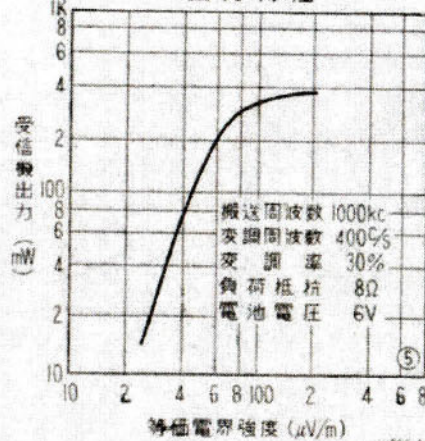
〔第2図〕 電氣的忠実度特性



感度特性

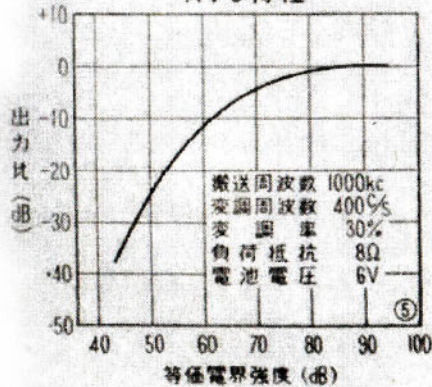


出力特性

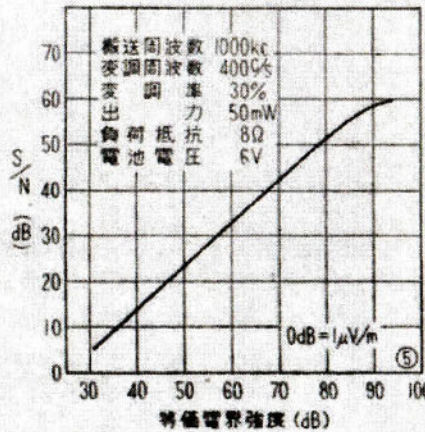


〔第3図〕

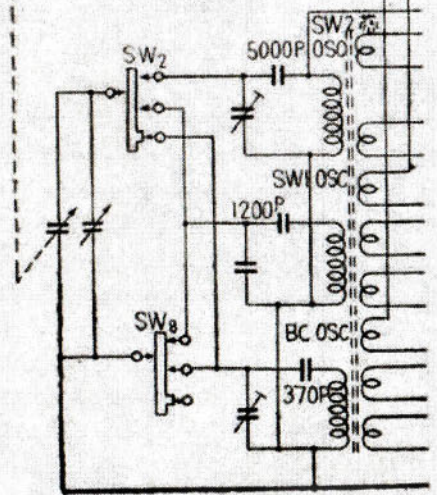
AVC特性



雑音特性



〔第4図〕



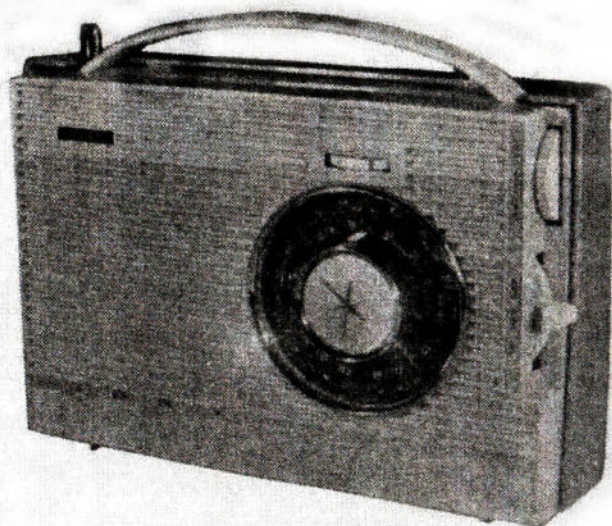
正 価 15,000 円

イメージ妨害比はよいが、中間周波妨害比は、総体的にはよいものの、1500 kc 以上で落ちているのは、感度特性からもわかるとおり、妨害もロードアンテナの有無で特性がとつてある。選択度は左右がちよつと不釣合いだが、ひずみはよく、電氣的忠実度も悪くない、AVC 特性もよい。

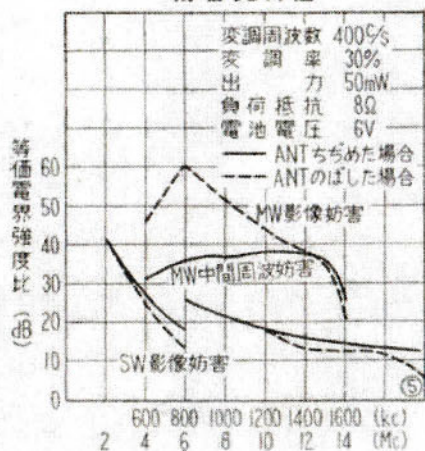
その他

外観は、紅白の2トーンで、アメリ

カ人ならポータブルとなる感じである。ダイヤルは円形で大きく、しかもとりあつかいやすくできている。パリコンはエアーの中形で電池は単一である。配線はプリント基板を2板用いて高周波数とIF部以下とに分けている、IFTは10mm。ダイヤル上部のツマミは、短波用の微調で使いやすい。寸法 幅274×高180×奥行77mm、重さ2kg

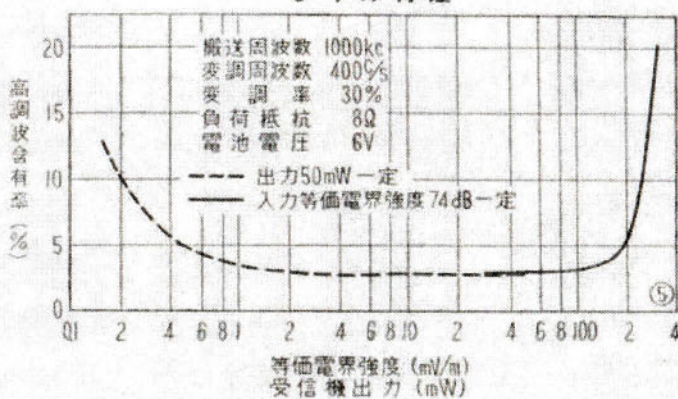


妨害比特性

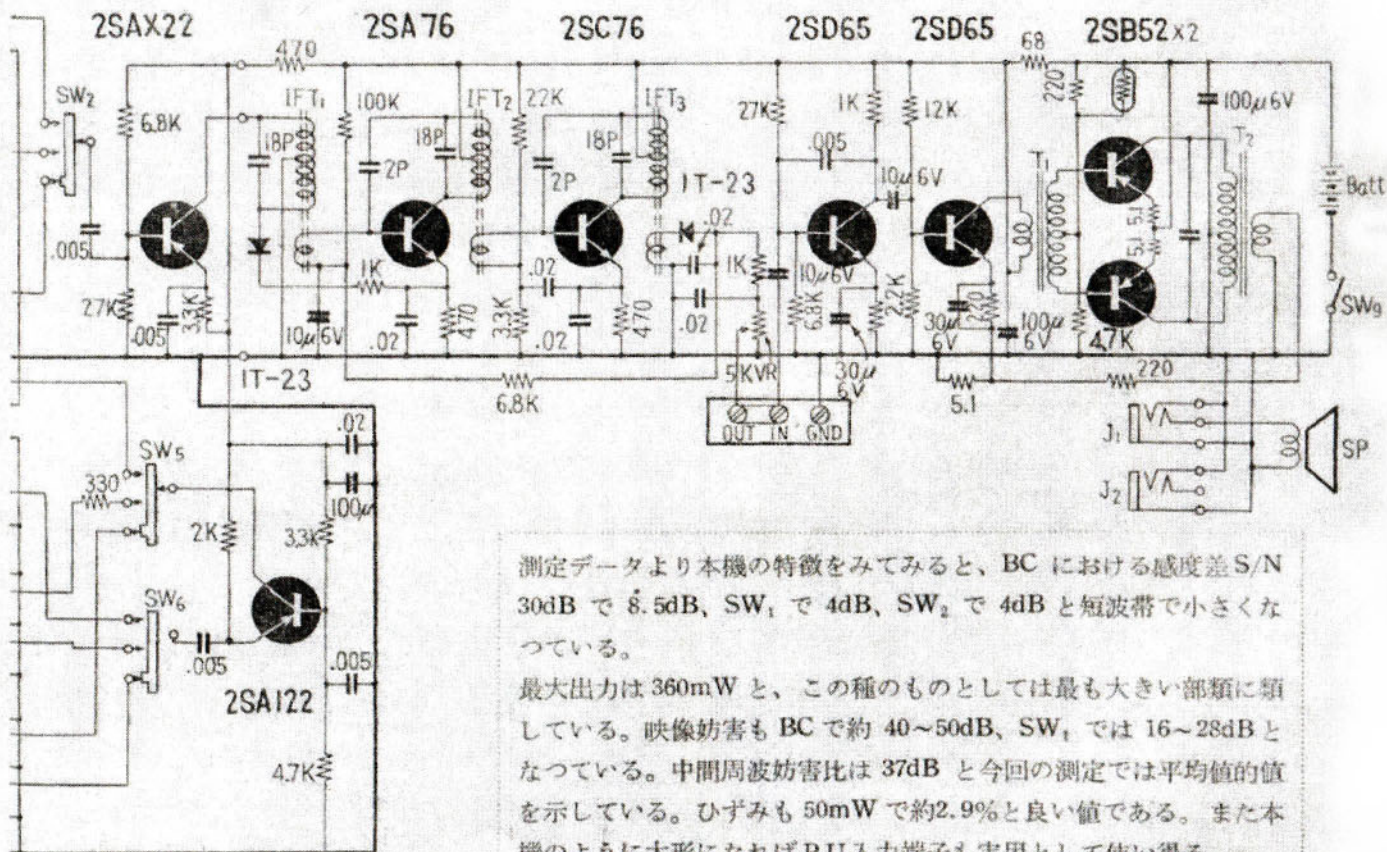


〔第7図〕

ひずみ特性



〔第8図〕



測定データより本機の特徴をみると、BCにおける感度差S/N 30dBで8.5dB、SW<sub>1</sub>で4dB、SW<sub>2</sub>で4dBと短波帯で小さくなっている。最大出力は360mWと、この種のものとしては最も大きい部類に類している。映像妨害もBCで約40~50dB、SW<sub>1</sub>では16~28dBとなつている。中間周波妨害比は37dBと今回の測定では平均値を示している。ひずみも50mWで約2.9%と良い値である。また本機のように大形になればPU入力端子も実用として使い得る。